



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく  
令和6年7月1日

さわやか相談室 Tel 048-865-7573

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 Tel 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

## 大きな石

校長 高山 俊介

例年に比べ遅い梅雨入りの晴れ間には大変気温が高くなり、夏の気配を色濃く感じる時期となりました。本校では、JRの専用列車の調整により、例年に比べ大変早い時期に修学旅行を実施（GW直後）するとともに、年間行事の実施時期を見直し、1学期に体育祭を行いました。このことにより、各学級にとっては「大きな石理論」の恩恵を受けることができたと思っています。

### 「大きな石理論」

ある専門家が、<sup>つば</sup>学生に講義した。

彼は、大きな壺をテーブルに置いた。そして、こぶし大の石を十数個用意し、一個ずつ丁寧<sup>つば</sup>に壺に入れた。石が壺の口のところまで来て、これ以上入らなくなったところで、彼は質問した。「この壺は、もう一杯か？」学生全員が「はい」と答えた。

そこで、彼はテーブルの下から砂利が目一杯入っているバケツを取り出し、その壺へザーツと砂利を移して壺を振ると、大きな石の隙間にその砂利が入り込んだ。それから再び彼は学生に聞いた。

「この壺は一杯か？」 「多分違う」と答え、学生たちもさすがに何かに気づいたようだ。

「よろしい！」と彼は言うのと、今度は砂の入ったバケツを用意し、砂を壺に移すと、砂は石と砂利の隙間に流れ込んだ。そして、再び「この壺は一杯か？」問うた。

「違う」と学生たちは叫んだ。 — 中略 — 次に壺に水を注ぎ、あふれそうになった時「この例えの意味するところは、一体何か？」と問いかけた。

— 中略 —

「スケジュールがいくら過密でも、その気になれば入れることは可能だ」とある学生が答えたところで、彼は首を横に振り、「大きな石は先に入れなければ、後から入れようと思っても入らなくなってしまう」と学生を諭した。

大きな石＝「大切なこと」です。生徒の皆さんにとって、大切なこととは何でしょうか？  
約500km先の古の都への旅でお土産を購入できたことでしょうか？

体育祭でトロフィーを勝ち取ったことでしょうか？

物語『星の王子さま』（作者のアントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ）の中の有名な言葉では「とても簡単なことだ。ものごとはね、心で見なくてはよく見えない。いちばんたいせつなことは、目に見えない」と言っています。また、生徒の皆さんにとって入学・進級後の緊張の日々やGWを挟んで大きな行事が続く、ちょうど今頃が知らず知らずのうちに疲れがたまったり、新しい人間関係などでの悩みやストレスなどを抱えたりする時期です。その1学期のうちにさいたま市では、全校で「いじめ撲滅強化月間」（6月）として重点的に取り組むようにしています。本校でも、各学級において「ストップいじめ！」のスローガンづくりについて話し合いをすることにより、「大切なこと」を確認し、互いを認め、個性と良識を磨き合える学校生活を創出していきましょう。

保護者の皆様、地域の方々にも多くの場面で支えていただいていることに心より感謝いたします。

